

○概ね4年で実施する取組のフォローアップ

資料3

取組項目	取組内容	関係機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考
①安全な避難行動のための取組									
○水害リスクに関する情報提供等の充実									
・想定最大規模の降雨による水害リスクの公表(洪水浸水想定区域図等)	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域などの作成・公表。	岩手県	・約300河川の洪水浸水想定区域指定を行う。	令和4年度から令和7年度まで	馬淵川・安比川の指定範囲の見直しを実施。	70河川(うち、当圏域は米代川等11河川)の新規指定を実施。	85河川(うち当圏域は、坊里沢川等2河川)の新規指定を実施。	81河川(うち、当圏域は金田一川等11河川)の新規指定を実施。	
・水害リスクや避難に関する情報の住民周知	想定最大規模降雨に対応したハザードマップの作成、ホームページへの掲載他、各戸配布など住民への周知。浸水実績の公表。	岩手県	・市町村へのデータ提供等ハザードマップ作成にあたっての支援を行う。	継続実施	交付金の活用支援を実施。	交付金の活用支援を実施。	交付金の活用支援を実施。	交付金の活用支援を実施。	
		二戸市	・想定最大規模降雨に対応したハザードマップの作成、ホームページ掲載、各戸配布を実施。	令和4年度更新予定	想定最大規模降雨に対応した「二戸市防災マップ」を作成し、ホームページ掲載、各戸配布を実施した。	防災マップの記載内容・活用方法などについて住民への周知を実施した。	出前講座等による、防災マップを活用した住民の危機管理意識の向上を図った。	防災マップを活用した住民の危機管理意識の向上促進	
		八幡平市	・防災マップの更新及び配布	随時	・防災マップの全戸配布	・防災マップ記載内容の確認	・防災マップ記載内容の確認	・防災マップ記載内容の確認及び見直し	
		葛巻町	・ハザードマップ作製配布済。	随時	・ハザードマップの内容更新の検討	・ハザードマップの内容更新の検討、ホームページ及び情報配信アプリ「ライブビジョン」への掲載 ・防災カメラの更新	・ハザードマップの内容更新の検討	・年度内にハザードマップ(防災マップ)を更新し、全戸配布する。	
		軽米町	・防災マップの更新	随時	防災マップの活用方法等について、ケーブルテレビで紹介。	防災マップを更新。	新防災マップの配布及び活用方法の紹介を行う。(ケーブルテレビ)	防災マップ記載内容の確認	
		九戸村	・防災マップの更新	随時	・防災マップの更新	・防災マップの更新	・防災マップの更新		
		一戸町	ハザードマップの見直し、ホームページへの掲載他、広報による住民への周知を図る。	継続実施	ホームページ等による周知を実施した	ハザードマップ更新の検討	ハザードマップ更新の検討	ハザードマップ更新の検討及び準備	
・「まるごとまちごとハザードマップ」の現地表示の拡大・促進	洪水災害に対応した避難場所、避難経路の設定や、避難誘導看板・洪水痕跡等の表示。	二戸市	・今後検討(時期未定)	令和7年度まで	想定最大規模を考慮した避難場所の見直しを行った。	既設避難誘導看板等の見直しなど検討。	出前講座等による、防災マップを活用した洪水災害に対応した避難場所の周知を実施。	防災マップを活用した洪水災害に対応した避難場所の周知向上。	
		八幡平市	・今後検討	令和7年度まで	・今後検討	・今後検討	・防災マップ記載内容の確認	・防災マップ記載内容の確認及び見直し	
		葛巻町	・ハザードマップに記載配布済。	随時	・ハザードマップの内容更新の検討	・ハザードマップの内容更新の検討	避難場所、避難経路の再検討	・年度内にハザードマップ(防災マップ)を更新し、全戸配布する。 ・各避難所に災害種別標識を設置する。	
		軽米町	・実施効果及び対象地区を検討	令和7年度まで	—	避難場所等の再検討	県と協働による警戒標識の設置	既設避難誘導看板等の見直し	
		九戸村	・今後検討	令和7年度まで	・今後検討	・今後検討	・今後検討	避難場所等の再検討	
		一戸町	洪水災害に対応した避難場所、避難経路の設定を検討する。	継続実施	避難場所、避難経路については今後も随時継続して検討することとした	ハザードマップ更新の検討	ハザードマップ更新の検討	ハザードマップ更新の検討及び準備	
・水位周知河川の指定拡大	水害危険性(水位周知河川)の周知及び情報共有。	岩手県	・県:11河川	令和4年度から令和7年度まで	2河川(当圏域はなし)	2河川(当圏域はなし)	4河川(当圏域はなし)	6河川(うち、当圏域は米代川)	
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備の強化	水位計を設置を実施。(水位計、危機管理型水位計・河川監視用カメラ等の適切な維持管理。)	岩手県	・県:5河川	令和4年度から令和7年度まで	3河川(当圏域は米代川1河川)	水位計1河川(当圏域はなし)、危機管理型水位計1河川(当圏域はなし)、簡易型河川監視カメラ5河川(当圏域はなし)	水位計1河川工事着手(当圏域はなし)危機管理型水位計1河川設置(当圏域はなし)	水位計1河川(当圏域はなし)	
・住民への情報伝達体制の充実	防災行政無線戸別受信機・防災ラジオの配布等住民への情報伝達体制の充実を実施。	二戸市	・希望者への防災ラジオ配布を継続実施 ・登録制メール「いわてモバイルメール」の登録、及び二戸市「LINE」の登録を推進	随時	新たに作成した防災マップに、防災ラジオの貸与、メール・LINEの登録について掲載した。	引き続き防災ラジオの配布、メール・LINEの活用について周知を図った。	引き続き防災ラジオの配布、メール・LINEの活用についてのチラシを各戸配付し、周知を図った。	防災行政無線等の市民への情報伝達手段を検討。	
		八幡平市	・情報伝達手段の多重化の検討	随時	・情報伝達手段の多重化の検討	・情報伝達手段の多重化の一環としてLINEによる情報提供の開始	・情報伝達手段の多重化の検討	・情報伝達手段の多重化の検討	
		葛巻町	・FM告知端末各戸配布済、ケーブルテレビ局葛巻テレビによる災害発生情報告知。	随時	・FM告知端末各戸配布、ケーブルテレビ局葛巻テレビによる災害発生情報告知。	・ケーブルテレビ(くずまきテレビ)及び情報配信アプリ「ライブビジョン」による災害発生情報告知。 ・防災カメラの更新	・ケーブルテレビ(くずまきテレビ)及び情報配信アプリ「ライブビジョン」による災害発生情報告知。	・ケーブルテレビ(くずまきテレビ)及び情報配信アプリ「ライブビジョン」による災害発生情報告知。	
		軽米町	・戸別放送受信機については配布済み、その他情報伝達手段の多重化の検討	随時	—	情報伝達手段多重化の検討	情報伝達手段多重化の検討	情報伝達手段多重化の検討(引き続き)	
		九戸村	・希望者への防災行政無線戸別受信機の配布継続 ・LINEを活用した情報提供	随時	・希望者への防災行政無線戸別受信機の配布継続 ・LINEを活用した情報提供	・希望者への防災行政無線戸別受信機の配布継続 ・LINEを活用した情報提供	・希望者への防災行政無線戸別受信機の配布継続 ・LINEを活用した情報提供	・希望者への防災行政無線戸別受信機の配布継続 ・LINEを活用した情報提供	
		一戸町	屋外スピーカー放送難聴地域の集会施設、要援護配慮者等への戸別受信機の配備	令和4年度から令和7年度まで	戸別受信機での報知体制を確認した	登録制メール、戸別受信機、LINE、X等による防災情報の多重化配信	戸別受信機の貸与 ・各種スマホアプリによる通知の周知	戸別受信機の貸与 ・各種スマホアプリによる通知の周知	
・ホットラインの構築	出水期前に迅速かつ的確な防災体制が図られるよう、直接、情報提供できる体制の確認	盛岡地方気象台	・円滑なホットライン実施のために、気象台長が首長を訪問し連絡先の確認等を行う。 ・防災担当者向けのホットライン実施のために、気象台の職員が訪問し確認等を行う。	毎年(出水期前)	気象台長は首長を訪問し、ホットライン連絡先の確認を実施した。同様に、防災担当者向けのホットライン連絡先を確認した。	令和5年4月下旬までに構成員市町村の首長に気象台長が訪問し、直接情報提供できる体制の構築と確認を行った。	令和6年5月下旬までに構成員市町村の首長に気象台長が訪問を行い、直接情報提供できる体制の構築と確認を行う。	令和7年5月下旬までに構成員市町村の首長に気象台長が訪問を行い、直接情報提供できる体制の構築と確認を行う。	
		岩手県	・毎年出水期前にホットラインの体制について市町村と共有を行う。	毎年(出水期前)	ホットライン体制を確認	ホットライン体制を確認	ホットライン体制を確認	ホットライン体制を確認	
		二戸市	・毎年実施	毎年(出水期前)	関係機関とのホットライン体制について、確認・共有を行った。	関係機関とのホットライン体制について、確認・共有を行った。	関係機関とのホットライン体制について、確認・共有を行った。	関係機関とのホットライン体制について、確認・共有を行う。	
		八幡平市	・毎年度確認	毎年(出水期前)	・毎年度確認	・毎年度確認	・毎年度確認	・毎年度確認	
		葛巻町	・水位周知河川において、河川管理者から町長へのホットラインを構築し、水防体制を強化。	随時	・水位周知河川において、河川管理者から町長へのホットラインを構築し、水防体制を強化。	・ホットラインの継続実施	・ホットラインの継続実施	・ホットラインの継続実施	
		軽米町	・毎年確認	毎年(出水期前)	関係機関とのホットラインについて確認・更新	関係機関とのホットラインについて確認・更新	関係機関とのホットラインについて確認・更新	関係機関とのホットラインについて確認・更新	
		九戸村	・毎年確認	毎年(出水期前)	・毎年確認	・毎年確認	・毎年確認	・毎年確認	
		一戸町	出水期前に迅速かつ的確な防災体制が図られるよう、直接、情報提供できる体制の確認	毎年(出水期前)	ホットライン体制を確認できた	ホットライン体制を確認	ホットライン体制を確認	ホットライン体制を確認	

○概ね4年で実施する取組のフォローアップ

資料3

取組項目	取組内容	関係機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考
○住民自らが避難行動を行うために必要な情報提供の充実									
・洪水に関する各種情報(水位情報、避難情報等)の発信、避難指示に係る住民への理解促進	各構成員において水位情報、避難情報等に関する各種情報を発信。	盛岡地方気象台	・防災気象情報の利活用について、出前講座や講演会で説明	継続実施	防災気象情報の利活用について、出前講座や講演会を実施した。	防災気象情報の利活用について、出前講座や講演会を実施した。	防災気象情報の利活用について、出前講座や講演会を実施した。	防災気象情報の利活用について、出前講座や講演会を実施した。	
		岩手県	・いわてモバイルメール等を使用してのさらなる情報発信について検討する。	令和7年度まで	LINE及びTwitterで水位情報の発信を開始。	いわてモバイルメール等の普及活動を実施。	いわてモバイルメール等の普及活動を実施。	いわてモバイルメール等の普及活動を実施。	
		二戸市	・防災ラジオ、いわてモバイルメール、エアメールによる他、SNS等を活用し避難情報等を発信。	随時	防災ラジオ、メール、LINE等を活用し避難情報を発信した。	防災ラジオ、メール、LINE等を活用した避難情報等の発信した。	出前講座等によるメール・LINEの活用についての理解促進を図った。	防災ラジオ、メール、LINE等を活用した避難情報等の理解促進を図る。	
		八幡平市	・いわてモバイルメール等の活用・普及	継続実施	・いわてモバイルメール・LINE等の活用・普及	・いわてモバイルメール・LINE等の活用・普及	・いわてモバイルメール・LINE等の活用・普及	・いわてモバイルメール・LINE等の活用・普及	
		葛巻町	各自治会総会等において、地区担当職員から災害発生時の情報収集方法を説明。	随時	・実施なし	・地区担当職員の知識習得に係る研修の実施	・ケーブルテレビ(くずまきテレビ)及び情報配信アプリ「ライブビジョン」による災害発生情報告知。	・ケーブルテレビ(くずまきテレビ)及び情報配信アプリ「ライブビジョン」による災害発生情報告知。	
		軽米町	・防災気象情報等を踏まえた避難情報の早期発信 ・HP、SNS等を活用し各種情報を発信	随時	大規模災害が無かったことから、避難情報の発令実績なし。	いわてモバイルメール等の各種情報伝達手段を活用し、防災気象情報等を踏まえた避難情報等の早期発信に努めた。	各種情報伝達手段を活用し、防災気象情報等を踏まえた避難情報等の早期発信に努めた。	各種情報伝達手段を活用し、防災気象情報等を踏まえた避難情報等の早期発信に努めた。	
		九戸村	・エアメール、SNS、LINE等を活用し避難情報等を発信	随時	・エアメール、SNS、LINE等を活用し避難情報等を発信	・エアメール、SNS、LINE等を活用し避難情報等を発信	・エアメール、SNS、LINE等を活用し避難情報等を発信	・エアメール、SNS、LINE等を活用し避難情報等を発信	
		一戸町	メール、HP等により水位情報、避難情報等に関する各種情報を発信	継続実施	メール、HPにより避難情報提供を実施	各種媒体による避難情報の多重化配信	各種媒体による避難情報の多重化配信	各種媒体による避難情報の多重化配信	
・近年の局地化・集中化・激甚化する雨の降り方に対応した防災気象情報の提供	近年の局地化・集中化・激甚化する降雨に対応した防災気象情報を発信。	盛岡地方気象台	・適時的確な防災気象情報の発表に努める。	継続実施	気象警報・注意報を発表し、現象ごとに警戒期間、注意期間、ピーク時間帯、予想最大値等を周知した。	出水期前に各種注警報基準の見直しを、年間を通じ各種防災気象情報の発表を行った。	令和6年出水期前より、「線状降水帯による大雨の可能性の呼びかけ」を、従来の地方単位から府県単位へ改善し発表する運用を開始する。	令和8年出水期を目途とした「防災気象情報の体系整理」を行うため、周知・各種計画修正の支援等を行う。	

○概ね4年で実施する取組のフォローアップ

資料3

取組項目	取組内容	関係機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考	
②地域防災力を維持・継続・強化するための取組										
OPDCAサイクルを取り入れた自動・共助・公助の連携										
・水害対応「タイムライン」の改善や見直し	実洪水及び洪水演習、各種訓練を踏まえた水害対応タイムラインの確認、見直しを実施。	盛岡地方気象台	・タイムラインの見直しに協力。	継続実施	タイムラインの見直しに協力した。	タイムラインの見直しに協力した。	タイムラインの見直しに協力し、特に最新の防災気象情報の形式の反映に留意する。	タイムラインの見直しに協力する。		
		岩手県	・洪水演習等を踏まえ順次タイムラインの見直しを行う。	継続実施	基準水位の変更に合わせて見直しを実施。	基準水位の変更に合わせて見直しを実施。	基準水位の変更に合わせて見直しを実施。	基準水位の変更に合わせて見直しを実施。		
		二戸市	・タイムラインを活用・確認し、改善点等ある場合は見直しを実施。	随時		タイムラインを活用・確認し、改善点等ある場合は見直しを実施した。				
		八幡平市	・水害対応タイムラインの確認、見直し	随時		・水害対応タイムラインの確認、見直し				
		葛巻町	・水害対応タイムラインの確認実施。	随時		・水害対応タイムラインの確認実施				
		軽米町	・タイムラインの確認、見直し	随時		タイムラインの確認、見直し				
		九戸村	・タイムラインの確認、見直し	随時		・タイムラインの確認、見直し				
		一戸町	気象台、県等の見直し等に準じて随時タイムラインの見直しを行う。	継続実施		水害状況について気象台と意見交換し今後の体制作りを生かした				
・県管理河川における水害対応「タイムライン」の作成	(県)県管理河川の洪水対応「タイムライン」を作成(市町)水位周知河川の沿川自治体は河川毎に水害対応「タイムライン」の作成	盛岡地方気象台	・新規で水位周知河川に指定した河川について、タイムラインの作成の支援を行う。	継続実施	タイムライン作成に協力した。	タイムラインの見直しに協力した。	タイムラインの見直しに協力し、特に最新の防災気象情報の形式の反映に留意する。	タイムラインの見直しに協力する。		
		岩手県	・新規で水位周知河川に指定した河川について、タイムラインの作成の支援を行う。	継続実施		タイムラインの作成支援を実施。	タイムラインの作成支援を実施(当圏域はなし)。	必要に応じてタイムライン作成支援を実施。		
		八幡平市	・水害対応タイムラインの作成	令和7年度まで	・作成済みの水害対応タイムラインの確認、見直し	・作成済みの水害対応タイムラインの確認、見直し	・作成済みの水害対応タイムラインの確認、見直し			
・住民参加型の実践的な訓練の実施	・自主防災組織、福祉関係者、水防団、水防協力団体等による「避難時の声掛け」や「避難誘導」を含む訓練の実施など ・自治体の避難情報、河川等の防災情報を活用した住民参加型の避難訓練や避難場所への移動訓練、避難所開設等の実施など	盛岡地方気象台	・自治体が予定する河川やダム等の防災情報を活用した住民参加型の避難訓練へ支援を実施	継続実施	コロナ過で避難訓練等がなかった。	令和5年度支援実績なし。	引き続き、避難訓練への支援を実施する。	訓練への支援を実施する。		
		岩手県	・自治体が予定する河川やダム等の防災情報を活用した住民参加型の避難訓練へ支援を実施	継続実施	—	—	—	—		
		二戸市	・市総合防災訓練において住民参加型の避難訓練を実施。 ・自主防災組織や自治会が主催する避難訓練への支援を実施。	継続実施		市防災訓練において、自主防災組織・水防団(消防団)と共に、住民による避難訓練および避難所開設訓練等を実施した。				
		八幡平市	・総合防災訓練の実施	随時		・総合防災訓練の実施				
		葛巻町	・地域住民、水防団、関係機関等による総合防災訓練を実施。	随時		・地域住民、水防団、関係機関等による総合防災訓練を実施。				
		軽米町	・防災訓練の実施	随時		—	—	—	—	
		九戸村	・防災訓練の実施	随時		・防災訓練の実施				
		一戸町	・自主防災組織、町内会等で実施する防災訓練に対し、助成金の支給、人材の派遣等を行う。	継続実施		自主防災組織による防災訓練に対し補助を実施				
・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成及び訓練の実施・促進	・地域防災計画に定められた要配慮者利用施設における「避難確保計画の作成」及び「避難訓練」の促進 ・避難確保計画の作成、避難訓練の促進に向け「講習会プロジェクト」の取組を拡大 ・洪水浸水想定区域内の施設を地域防災計画に位置づけ、計画策定や訓練に対して助言を実施。	盛岡地方気象台	・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成及び訓練に協力する。	継続実施	久慈市で開催された「避難確保計画作成WS」に協力した	令和5年度支援実績なし。	引き続き、要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成及び訓練に協力する。避難訓練への支援を実施する。	要配慮者利用施設等の防災に係る市町村の取り組みを支援する。		
		岩手県	・関係部局と調整を行い、通知や講習会等を実施する。	継続実施		要配慮者利用施設の管理者向け講習会を実施し、避難確保計画の策定を促進した。				
		二戸市	・関係機関と連携し作成を支援する。	継続実施		対象施設の、危険区域外への移転等による現状確認を実施した。				
		八幡平市	・要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び避難訓練の実施	継続実施		・要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び避難訓練の支援				
		葛巻町	・対象施設の避難確保計画作成支援	随時		・対象施設の避難確保計画作成支援				
		軽米町	・全施設作成済み ・避難訓練の促進及び計画の見直しを行う	随時		—	—	避難訓練の促進		
		九戸村	・避難確保計画作成の支援、避難訓練訓練の促進及び計画の見直しの支援	随時		・避難確保計画作成の支援、避難訓練訓練の促進及び計画の見直しの支援				
		一戸町	・県や関係部局と調整を行い、未作成施設等へ作成を促す。	随時実施		福祉団体を中心に作成を支援				
・隣接市町村との情報共有・連携(広域避難体制等)	・水害リスクと地域特性を踏まえた当該市町の避難所だけで避難者を収容できるか確認 ・緊急的な避難場所の必要性の検討 ・広域避難を考慮した場合は、隣接した市町等における避難場所、連絡体制等の検討・調整	二戸市	・近隣市町村や災害協定自治体と連絡体制等の検討。調整を行う。 ・市内避難所の収容人数の確認	随時						
		八幡平市	・今後検討	随時		・今後検討				
		葛巻町	・隣接市町村との情報共有体制の強化。	継続実施		・近隣市町村との情報共有体制を強化するための方法を検討				
		軽米町	・今後検討	令和7年度まで		—	—	引き続き確認・検討を行う。		
		九戸村	・今後検討	令和7年度まで		・今後検討				
		一戸町	水害リスクと地域特性を踏まえた当該市町の避難所だけで避難者を収容できるか確認する。	継続実施		隣接市町村との情報共有を実施				
							隣接市町村との情報共有を継続			

○概ね4年で実施する取組のフォローアップ

資料3

取組項目	取組内容	関係機関	取組の目標(内容)	目標時期(期間)	R4取組内容	R5取組内容	R6取組内容	R7取組内容	備考
○正しい知識の周知・定着									
・自主防災組織や地域住民を対象とした、水害リスクや防災に関する知識の普及(説明会、出前講座の実施等)	自主防災組織や地域住民へハザードマップ説明会、出前講座、水防訓練等の実施などによる知識普及活動を実施。	盛岡地方気象台	・気象防災ワークショップの実施。 ・研修会等での講演	継続実施	岩手県と協力して気象防災ワークショップを実施した。	岩手県と協力して気象防災ワークショップを実施した。	引き続き、気象防災ワークショップを実施する。	自治体が主催する自主防災組織などを対象にした研修会等へ講師を派遣する。	
		岩手県	・浸水想定の説明会等において、水害リスクについての説明を行う。	継続実施	浸水想定の説明会等において、水害リスクについて説明。	浸水想定の説明会等において、水害リスクについて説明。	浸水想定の説明会等において、水害リスクについて説明。	浸水想定の説明会等において、水害リスクについて説明。	
		二戸市	・自主防災組織や地域住民への出前講座、防災訓練等により随時実施。	継続実施	防災訓練、出前講座による周知・啓発を実施した。	防災訓練、出前講座等により周知・啓発を実施した。	防災訓練、出前講座等により周知・啓発を実施した。	防災訓練、出前講座等により周知・啓発を実施する。	
		八幡平市	・防災訓練や出前講座などを実施	随時	・前年度作成した防災マップに基づき学習会を開催	・防災訓練や出前講座などを実施	・避難所開設訓練、出前講座などを実施	・防災訓練や出前講座などを実施	
		葛巻町	・各自治会総会等において、地区担当職員からハザードマップ説明を実施。	随時	・実施せず	・自主防災組織等を対象とした研修会の実施	・自主防災組織等を対象とした研修会の実施	・自主防災組織等を対象とした研修会の実施	
		軽米町	・防災訓練や出前講座などを通じて随時実施する。 ・その他、CATV等を活用し知識普及活動を実施する	随時実施	・ケーブルテレビを活用し、防災マップの活用方法について説明。	—	ケーブルテレビを活用し、新防災マップの活用方法について説明。	防災訓練、出前講座等により周知・啓発	
		九戸村	・防災訓練や広報紙等を活用した知識普及活動	随時	・防災訓練や広報紙等を活用した知識普及活動	・防災訓練や広報紙等を活用した知識普及活動	・防災訓練や広報紙等を活用した知識普及活動	・防災訓練や広報紙等を活用した知識普及活動	
		一戸町	自主防災組織等の防災訓練等の実施を促進し、その際の経費助成や人材派遣などによる知識普及活動を実施する。	継続実施	予定していた出前講座が大雨災害により中止	出前講座、防災訓練を実施	・公民館長会議にて防災講座を開催 ・各種出前講座を開催	・公民館長会議にて防災講座を開催 ・各種出前講座を開催	
・教育関係者と連携した、児童・生徒を対象とした防災に関する知識取得の強化(出前授業の実施等)	教育関係者と連携した防災・河川環境教育の実施	盛岡地方気象台	・気象防災ワークショップの実施。 ・研修会等での講演	継続実施	岩手県と協力して気象防災ワークショップを実施した。	中学校・高校を訪問し気象庁ワークショップを実施して防災気象情報の利活用について普及啓発を実施した。	引き続き、気象庁ワークショップを実施する。	岩手県教育委員会の学校防災アドバイザー派遣事業に協力して講師を派遣する。	
		岩手県	・出前講座等の実施	継続実施	盛岡地方気象台と連携した気象防災ワークショップの実施による市町村職員の災害対応力の向上を図った。	盛岡地方気象台と連携した気象防災ワークショップの実施による市町村職員の災害対応力の向上を図った。	盛岡地方気象台と連携した気象防災ワークショップの実施による市町村職員の災害対応力の向上を図った。	国と連携した取組の推進及び出前講座等の実施。	
		二戸市	・市内各学校での出前講座の実施 ・児童・生徒の市総合防災訓練への参加	継続実施	市防災訓練への児童の参加、及び市内各小学校で出前講座を実施した。	各学校と協力した防災訓練、出前講座等を実施した。	各学校と協力した防災訓練、出前講座等を実施した。	各学校と協力した防災訓練、出前講座等を実施する。	
		八幡平市	・出前講座の実施	随時	・防災出前講座の実施	・防災出前講座の実施	・防災出前講座の実施	・防災出前講座の実施	
		葛巻町	・水防団と地域自主防災隊と連携した避難訓練幼児教育を実施。	随時	・コロナ禍により、幼児教育は実施せず	・避難訓練等の実施	・避難訓練等の実施	・避難訓練等の実施	
		軽米町	・出前講座等の実施	継続実施	・中学生に対し、防災教室を実施。	・中学生に対し、防災教室を実施。	・児童生徒に対し、防災教室を実施	児童生徒に対し、防災教室を実施	
		九戸村	・出前講座の実施	随時	・出前講座の実施	・出前講座の実施	・出前講座の実施	・出前講座の実施	
		一戸町	・今後検討	継続実施	一戸高校での防災教育講座を実施	ボードゲームを利用した防災学習を実施	ボードゲームを利用した防災学習を実施	ボードゲームを利用した防災学習を実施	

